

景観重要建造物への指定と支援

建造物	行政区	指定日	支援
御靈神社（※） (上御靈神社)	上京区	平成27年1月23日	「御車舎（みくるましや）」(別添資料⑥宝蔵庫) の改修費を助成
梨木神社（※）	上京区	平成27年3月31日	
下御靈神社（※）	中京区 上京区	平成27年3月31日	
壽ビルディング (※)	下京区	平成27年3月31日	
日本聖公会京都 聖三一教会	中京区	平成27年3月31日	

（※）歴史的風致形成建造物も併せて指定

景観重要建造物等の調査票

寺社 No. 047 (ID. 上 J004)		名称：御靈神社 (ごりょうじんじゃ)		担当者：杉本	調査日：平成 26 年 12 月 2 日
所在 地	上京区上御靈前烏丸東入上御靈堅 494		位置図 (都市計画図)	平面図 (写真撮影位置図)	航空写真
敷地面積	11227.3 m ²				
現適用制度	用途地域	第二種中高層住居専用地域			
	防火・準防火	準防火地域			
高度地区	15m 第 1 種高度地区				
	景観計画	旧市街地型美観地区			
風致地区	—				
系譜、歴史性 (謂れ等)	<p>祭神として崇道天皇、吉備真備、橘逸勢をはじめ、13柱の神靈を祀る。 この地には、はじめ付近住民の氏寺として創建された上出雲寺があったが、平安京遷都に際し、桓武天皇の勅願により王城守護の神として、奈良時代・平安時代初期に不運のうちに無くなった 8 柱の神靈が祀られたといわれ、その後、明治天皇の御願により祭神 5 社が増祀され、現在に至っている。</p> <p>平安時代には、天変地異や疫病流行は怨靈のたたりであるとする御靈信仰が盛んで、疫病除けの靈社として名を広めた。朝廷から庶民に至るまで広く信仰を集めましたが、特に御所の守護神として皇室の崇敬が厚く、神輿や牛車等、皇室からの寄付品を多数蔵している。</p> <p>本殿は、享保 18 年に下賜された賢所御殿を復元したものと言われる。境内は、応仁の乱の発端となつた場所としても知られる。(境内解説板参考)</p>				
主な建物個々の写真 (番号、用途、構造、階数)			建物全景写真 (近景、遠景 (周辺の町並みを含む))		
①本殿、木造、1 階	②楼門 (西門)、木造、1 階	③手水舎、木造、1 階			
④拝殿、木造、1 階	⑤社務所、1 階	⑥宝蔵庫、1 階			
建物個々で気の付いた点			周辺の町並みとの調和の状況、その他特筆すべき事項等		
敷地内の建物や樹木の管理状態は良好である。境内敷地は広く、境内社が多い。			<ul style="list-style-type: none"> 周辺は、閑静な住宅地である。境内には大木が生い茂り、緑が多いため、遠方からでもその存在を確認することができる。 京都市『景観重要建造物』指定 		
			公開・非公開の区分：公開		

景観重要建造物等の調査票

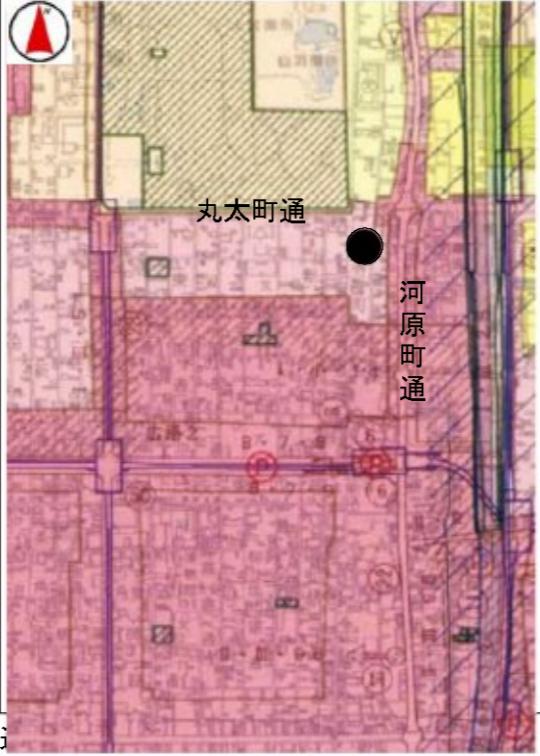
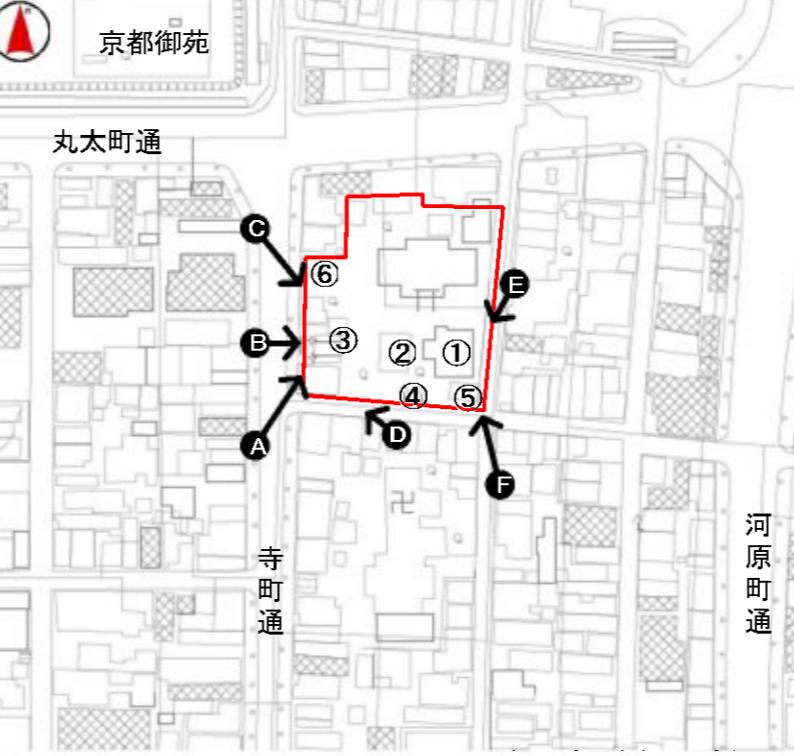
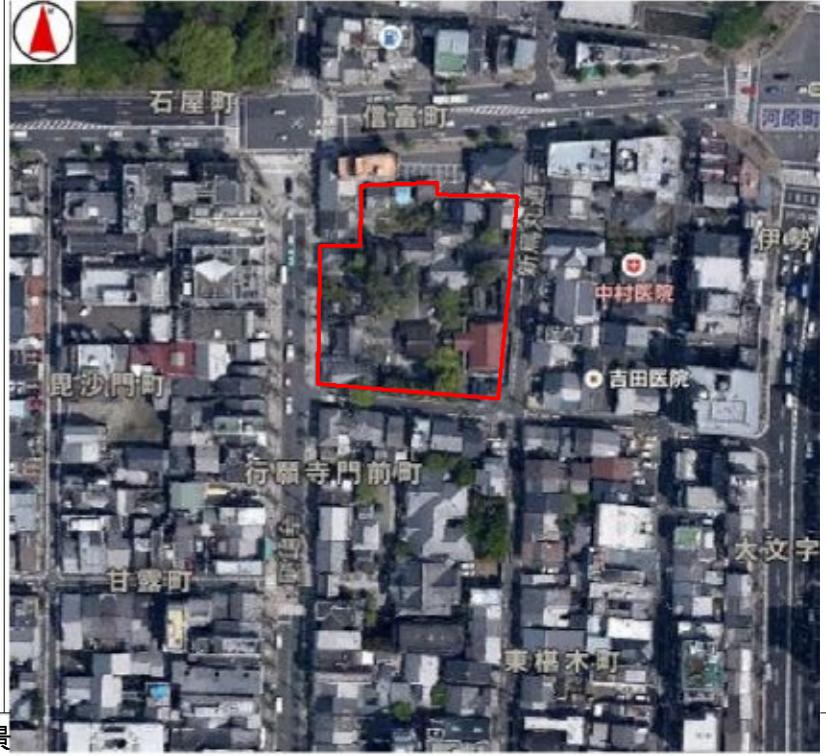
寺社 No. 063 (ID. 上 J003)	名称 : 梨木神社 (なしのきじんじゃ)	担当者 : 杉本	調査日 : 平成 26 年 12 月 9 日
-------------------------	----------------------	----------	------------------------

所 在 地	上京区寺町通広小路上る染殿町 680	位置図 (都市計画図)	平面図 (写真撮影位置図)	航空写真
敷 地 面 積	8911.3 m ²			
現適用制度	用途地域 第二種中高層住居専用地域 防火・準防火 準防火地域 高度地区 15m 第1種高度地区 景観計画 歴史遺産型美観地区(一般地区) 風致地区 一			
系譜、歴史性 (謂れ等)	<p>父子である贈右大臣正一位三條実萬公と内大臣正一位大勲位公爵三條実美公の二柱の神様を祀っている。実萬公は、才色兼備菅原道真公の生まれかわりと崇められ、当時の人々から天神様と称せられたといわれ、早くから王政復古の大儀を唱えられ、明治維新の原動力となった。明治 2 年、明治天皇から「忠成公」のおくり名を賜わり、明治 18 年 10 月、旧梨木町の今地に梨木神社を創建、別格官幣社に列せられたものである。</p> <p>実美公は、父君の遺志を継ぎ、朝威回復、攘夷決行の急進派少壮公卿の中心人物として活躍し、大正 4 年の大正天皇即位式にあたり第二座御祭神として梨木神社に合祀された。(梨木神社 HP より)</p> <p>http://www.nashinoki.jp/page/yuisyo 参考</p>			

主な建物個々の写真 (番号、用途、構造、階数)			建物全景写真 (近景、遠景 (周辺の町並みを含む))		
①本殿	②拝殿	③山門	A	B	C
④宝物殿	⑤社務所	⑥社務所 木造 2 階	D	E	

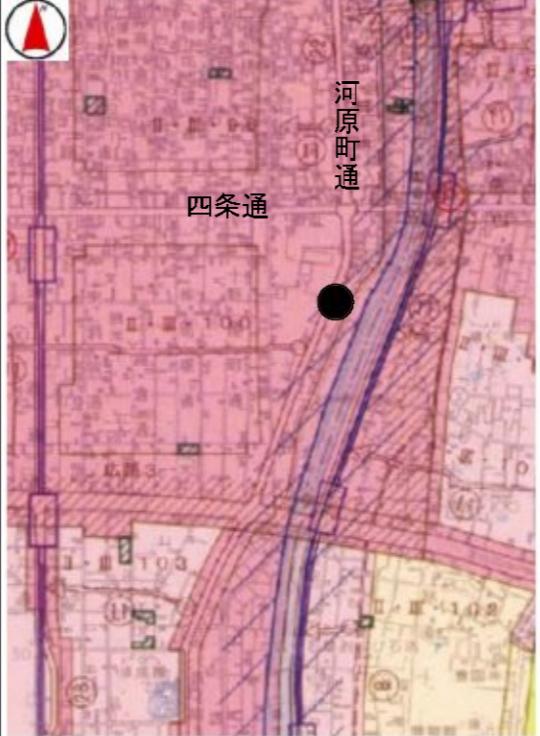
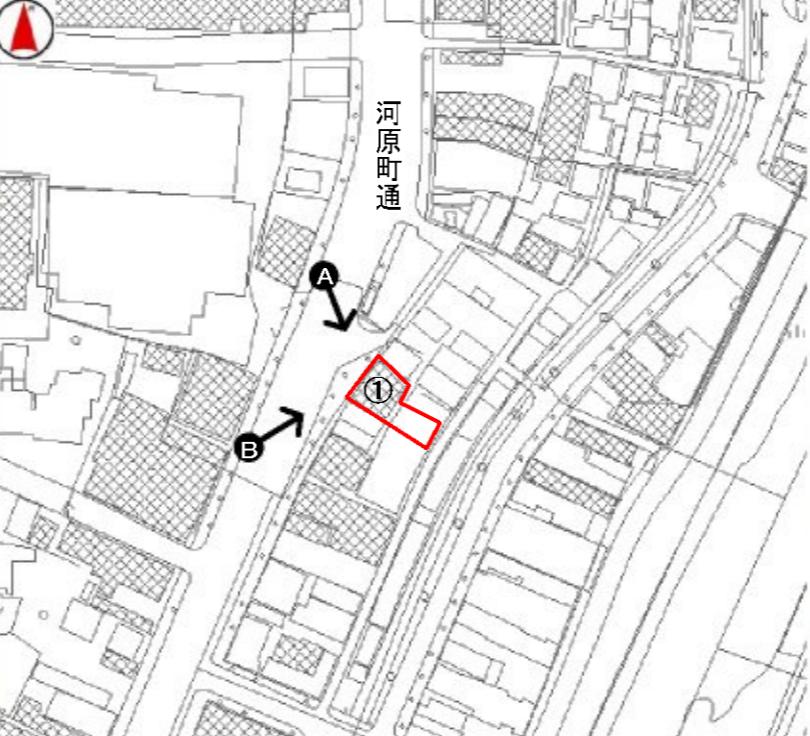
建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況、その他特筆すべき事項等
建物や樹木は良好に管理されている。清和院御門から続く参道には共同住宅が建設中で、完成後参道の存否は不明。	<ul style="list-style-type: none"> A, B, D の写真是、清和院御門付近からの写真である。清和院御門から C の区間には共同住宅を建設中 (E)。 京都御苑に隣接し、その鬱蒼として連続した樹林の中にある。

景観重要建造物等の調査票

寺社 No. 222 (ID. 上 J018)		名称：下御靈神社 (しもごりょうじんじゃ)	担当者：辻, 長谷川	調査日：平成 26 年 7 月 31 日									
所在 地	上京区新烏丸通丸太町下る新富町 324												
敷地面積	3,074.1 m ² (※近代化遺産は GIS 計測)												
現適用制度	用途地域	近隣商業地域											
	防火・準防火	準防火地域											
	高度地区	15m 第3・4種高度地区											
	景観計画	歴史遺産型美観地区											
風致地区	-												
系譜, 歴史性 (謂れ等)	<p>平安時代に冤罪を被り亡くなった貴人の怨霊を御靈として、その当時から祀ってきた神社。疫病災厄を退散し、朝廷と都を守る神社として崇敬される。初めは京の郊外でそれぞれの御靈が祀られていたが、後にまとめて八所御靈としてお祀りする事で御神徳が高まると考えられ、当社が鎮座されたものと思われる。 (下御靈神社 HP より)</p> <p>本殿・幣殿・拝所・南北廊・拝殿は市指定有形文化財。寛政 3 年(1791)に移建された。</p>												
位置図 (都市計画図)  平面図 (写真撮影位置図)  航空写真 													
主な建物個々の写真 (番号, 用途) <table border="1"> <tr> <td>①本殿・幣殿, 木造, 1階</td> <td>②拝殿, 木造, 1階</td> <td>③手水舎・表門, 木造, 1階</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					①本殿・幣殿, 木造, 1階	②拝殿, 木造, 1階	③手水舎・表門, 木造, 1階						
①本殿・幣殿, 木造, 1階	②拝殿, 木造, 1階	③手水舎・表門, 木造, 1階											
													
													
A ①本殿・幣殿, 木造, 1階 B ②拝殿, 木造, 1階 C ③手水舎・表門, 木造, 1階		D ④末社, 木造, 1階 E ⑤神輿庫, 木造, 1階 F ⑥倉庫・店舗, 木造, 1階											
建物個々で気の付いた点 <ul style="list-style-type: none"> 神輿庫（天明の大火の際に類焼を免れて現存する）や末社に劣化が見られる。 寺町通に面してはある程度良好に保たれているが、河原町通への通りや敷地東側の通りでは、土壌の劣化が見られる。 土壌や本殿の修復に向け、本殿前に「社殿等修復事業御奉賛のお願い（1口千円）」の看板が設置されている。 													
周辺の町並みとの調和の状況, その他特筆すべき事項等 <ul style="list-style-type: none"> 5月の還幸祭, 8月の例祭などが盛大に行われる。 鳥居や玉垣、樹木が通り景観を特徴づけている。 <p>公開・非公開の区分：公開</p>													

景観重要建造物等の調査票

近代建築 No. 052 (ID. 254)	名称：寿ビルディング（旧・商工ビルディング）	担当者：山田	調査日：平成 26 年 12 月 10 日
------------------------	------------------------	--------	-----------------------

所 在 地	下京区市之町 251	位置図（都市計画図）	平面図（写真撮影位置図）	航空写真
敷 地 面 積	約 271 m ² (※近代化遺産は GIS 計測)			
現適用制度	用途地域 商業地域			
	防火・準防火 防火地域			
	高度地区 31m 高度地区			
	景観計画 沿道型美観地区(都心部幹線地区)			
	風致地区 一			
系譜、歴史性 (謂れ等)	外観は、ルネサンスの形式から装飾を省いた、20世紀の初頭にアメリカで確立された高層商業ビルの様式と言ってよい。下層腰回りは石張りとし、窓にはステンレスサッシュが嵌められている。京都では遺構が少ない、近代主義に向かう高層ビルディングとして貴重である。（「京都市の近代化遺産」より抜粋）			

主な建物個々の写真（番号、用途、構造、階数）			建物全景写真（近景、遠景（周辺の町並みを含む））		
①商業施設、RC 造、5 階	②	③			
					
④	⑤	基本情報（京都市の近代化遺産より） 建築年：昭和 2 年 構 造：RC 造 5 階建 設 計：合資会社山虎組 施 工：合資会社山虎組 指定等：			

建物個々で気の付いた点	周辺の町並みとの調和の状況、その他特筆すべき事項等
・テナントビルとして利用されており、状態良く管理されている。	・河原町通に面して立地し、良く目立つ。